

第7次智頭町総合計画

基本計画に基づく実施計画(平成29年度～平成33年度)

(千円)

| 将来像 | 基本理念 | 基本計画 | | | | 担当課 | 優先度 | H29年度 (実績) | H29年度 (評価) | |
|---------------------------------|------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|-----------|--|-------------------------------|--------|-------------------|---------------|------|
| | | 視点 | 方針 | 事業 番号 | 番号 | | | | | 実施計画 |
| ちづ暮らしの道しるべ 一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ | Ⅱ 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり | ①健康 | (1) 智頭町ならではの自然 やつながりで健康長寿 なくらし | 1 | 34 | 乳幼児等保健相談事業の推進 | 福祉課 | ◎ | 698 | C |
| | | | | 2 | 35 | 幼児健康診査事業の推進 | 福祉課 | ◎ | 662 | C |
| | | | | 3 | 36 | 安全安心な学校給食の提供 | 給食センター | ○ | 65,174 | B |
| | | | | 4 | 37 | 調理機器等の計画的な更新 | 給食センター | ○ | 4,615 | B |
| | | | | 6 | 38 | 体力向上のための学校での活動の充実 | 教育課 | ○ | 102 | C |
| | | | | 7 | 39 | 中学校の部活動の充実 | 教育課 | ○ | 0 | C |
| | | | | 8 | 40 | 食育の推進 | 福祉課 | ◎ | 32 | C |
| | | | | 9 | 41 | 特定検診・がん検診・各種健康教室・健康相談・家庭訪問の充実 | 福祉課 | ◎ | 36,852 | C |
| | | | | 10 | 42 | 介護予防事業の推進 | 福祉課 | ○ | 3,074 | C |
| | | | | 11 | 43 | 介護給付費の適正化事業の推進 | 福祉課 | ○ | 53 | C |
| | | | | 12 | 44 | 町民の健康づくりを目指した健康ちづ21の見直し | 福祉課 | ◎ | 142 | C |
| | | | | 13 | 45 | 町民の健康に対する意識の高揚を図るための啓発推進 | 福祉課 | ○ | 0 | C |
| | | | | 14 | 46 | 町民の健康増進のためのセラピーロードの活用 | 山村再生課 | ◎ | 8,745 | C |
| | | | | 15 | 47 | 看護師確保対策の強化 | 病院 | ◎ | 1,800 | D |
| | | | | 16 | 48 | 医療設備・機器の整備 | 病院 | ◎ | 25,314 | B |
| | | | | 17 | 49 | 医師確保対策の強化 | 病院 | ◎ | 483,462 | B |
| | | | | ②環境 整備 | (2) 町民の安心な暮らし・活 動を支えるための、そし て未来に受け継ぐ環境 整備 | 2 | 50 | 智頭宿の町並み整備と事業展開の推進 | 企画課 | ○ |
| | | 3 | 51 | | | 情報インフラの更新 | 企画課 | ○ | 0 | D |
| | | 5 | 52 | | | 地方特定道路整備及び急傾斜地崩壊対策事業 | 地域整備課 | ○ | 5,124 | C |
| | | 6 | 53 | | | 町道及び橋梁の計画的な整備と長寿命化計画 | 地域整備課 | ○ | 164,466 | C |
| | | 7 | 54 | | | ふるさと整備土木事業 | 地域整備課 | ○ | 12,825 | B |
| | | 10 | 55 | | | 水洗化向上対策 | 税務住民課 | ○ | 0 | 廃止 |
| | | 11 | 56 | | | 老朽管施設更新事業 | 水道課 | ◎ | 0 | D |
| | | 12 | 57 | | | 老朽化施設更新事業 | 水道課 | ○ | 0 | D |
| | | 13 | 58 | | | 国・県・町の連携による通学路等の整備検討 | 教育課 | ○ | 0 | B |
| 15 | 59 | 町民バスの更新 | 企画課 | | | ○ | 0 | D | | |
| 16 | 60 | 公共交通機関の利用促進 | 企画課 | ○ | 0 | C | | | | |
| 17 | 61 | 除雪事業 | 地域整備課 | ○ | 17,686 | B | | | | |
| 23 | 62 | 鳥取県東部広域行政管理組合による消防・救急体制の維持・充実 | 総務課 | ◎ | 111,943 | B | | | | |
| 24 | 63 | 災害対策体制の確立 | 総務課 | ◎ | 0 | C | | | | |
| 25 | 64 | 高齢者や一人暮らし家庭などの安全安心につながる見守り事業の推進 | 福祉課 | ○ | 2,599 | C | | | | |
| 合計 | | | | | | | | 945,368 | | |

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 乳幼児等保健相談事業の推進

事業番号

健康 1 (34)

Purpose

(事業の目的)

母子ともに安心して子育てができる環境づくりを構築し、育児仲間の繋がりを図ることができる。

Plan（目的達成のための計画）

智頭町で母子ともに安心して健やかに育つことができるように支援をするため乳児健診、子育て講座などを開催する。

Do（目的達成のために実行したこと）

- 乳児健診（3～4ヶ月健診、6～7か月健診、9～10か月健診）
3～4ヶ月健診、9～10か月健診は、集団健診、医療機関健診ともに実施。6～7か月健診は、智頭町保健センターのみで実施。
- 離乳食講習会を実施。以後、各乳児健診で栄養相談を実施。
- 未就園児に対して子育て講座を実施。（子育て支援センターと福祉課共催で）

Act（目的達成のために改善する事）

- より保護者が受診しやすい乳児健診の体制を築く。
- ちづ保育園、森のようちえん等とも連携し、健診の必要性を伝えていく。
- 子育て講座は決まった人、限られた人しか参加されないため、あり方を検討しなければいけない。参加率をみながら内容等運営方法を検証する。

Check（目的達成できたかを確認）

- 3～4か月健診：100%
- 6～7か月健診：97%
- 9～10か月健診：100%
- 子育て講座の受講率
1回目：16.1%、2回目：19.1%、3回目：7.7%、4回目：14.1%
- 離乳食講習会の受講率：62.5%

《評価》

C 乳児健診もだいたい毎年100%であるが、平成29年度は、6～7か月健診を再三勧奨したにも関わらず未受診のケースが1件あった。母の仕事が忙しく休みがなかなか取れないとのことだった。なんとか3～4ヶ月、9～10か月は、医療機関受診をしていただいた。保護者がより受診しやすい体制を築く必要性がある。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 幼児健康診査事業の推進

事業番号

健康 2 (35)

Purpose

(事業の目的)

母子ともに安心して子育てができる環境づくりを構築し、育児仲間の繋がりを図ることができる。

Plan（目的達成のための計画）

智頭町で母子ともに安心して健やかに育つことができるように支援をするため乳児健診、子育て講座などを開催する。

Do（目的達成のために実行したこと）

- 幼児健診（1歳6か月健診、2歳児歯科健診、3歳児健診）その都度、児に合わせたフォロー健診も実施。
- 各幼児健診で栄養士による栄養相談、臨床心理士による子育て相談を実施。

Act（目的達成のために改善する事）

- より保護者が受診しやすい幼児健診、フォロー健診の体制を築く。
- ちづ保育園、森のようちえん等とも連携し健診の必要性を伝えていく。

Check（目的達成できたかを確認）

- 1歳6か月健診の受診率：95.8%
- 2歳児歯科健診の受診率：74.1%
- 3歳児健診の受診率：98.0%

《評価》

C 幼児健診もだいたい100%に近いがなかなか100%にならない状況である。保護者に健診の必要性を伝え、なおかつ保護者がより受診しやすい体制を築く必要がある。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 安心安全な学校給食の提供

事業番号 健康 3 (36)

Purpose

(事業の目的)

日常生活における食事について、正しい理解と習慣を養い、学校生活を豊かにし、学校給食を通して明るい社交性を養う。

Plan（目的達成のための計画）

- 1 学校給食に使用する食材
- 2 職員の健康チェック
- 3 衛生管理の徹底

Do（目的達成のために実行したこと）

- 食材の点検（賞味期限等）
- 毎日の健康チェック
- 毎月2回の検体

Act（目的達成のために改善する事）

- 衛生管理を徹底するとともに、職員の意識を向上させる。
- 安全で安心な給食の提供を図る

Check（目的達成できたかを確認）

- 関係機関との連携を密にする

《評価》

B 職員の体調管理も良く、安心で安全な給食提供ができた。小学校、中学校とも、良く食べており、残菜の結果では、小学校は月平均で4.8%、中学校においては、残菜が1%にも満たないほどよく食べている。地産地消の食材も使用するよう心掛け、鳥取県産品使用率が全体使用の83%であった。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 調理機器等の計画的な更新

事業番号 健康 4 (37)

Purpose

(事業の目的)

安心して安全な給食提供をするため、調理器具等の整備が必要である。

Plan（目的達成のための計画）

- 1 調理器具の整備

Do（目的達成のために実行したこと）

- 1年に1回、委託業者に調理器具の点検

Act（目的達成のために改善する事）

- 機器が正常に稼働することで、安全な職場及び安心な給食提供

Check（目的達成できたかを確認）

- 毎日、調理員による点検実施

《評価》

B 日頃から、機械器具の点検をしており、年に1回、委託業者の点検も実施している。機械に異常が発生した場合には、迅速に対応している。調理器具等の大きな不具合もない。調理器具の整備をしているため、安全な職場、また、安心な給食提供ができています。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 体力向上のための学校での活動の充実

事業番号

健康 6 (38)

Purpose

(事業の目的)

全国的にも低下している児童生徒の体力は、学力と共に体力向上の取組が必要である。

Plan（目的達成のための計画）

- 1 朝の体操、ストレッチ、なわとび（小学校）
- 2 課外体育の実施（陸上、水泳）
- 3 夏休みの合同部活動

Do（目的達成のために実行したこと）

保小中が連携した取組に向けた校長園長会での情報交換
生活習慣アンケートによる実態把握、改善へ向けた実践

Act（目的達成のために改善する事）

柔軟性向上に視点をあてた取組推進

Check（目的達成できたかを確認）

中学校部活動、駅伝大会、小学校陸上・水泳大会で好成績を収めた。
体力テストの結果、持久力等はあるが、柔軟性に課題がある。

《評価》

C 小、中学校ともに各種大会での活躍が見られる。体力テストの結果など、柔軟性に課題があるため継続しての取組が必要である。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 中学校の部活動の充実

事業番号 健康 7.(39)

Purpose (事業の目的)

指導者の技術向上と、外部指導者の活用による部活動の充実を図る。

Plan（目的達成のための計画）

- 1 指導者研修
- 2 外部指導者の活用
- 3 専門指導者の招聘

Do（目的達成のために実行したこと）

運動部活動外部指導者活用事業の活用

Act（目的達成のために改善する事）

運動部活動外部指導者活用事業の継続
中学校は2人目を希望

Check（目的達成できたかを確認）

軟式野球部 東部地区大会（新人戦）優勝
今年度も複数の部が県大会に出場するなど、学校の目標をクリア

《評価》

- 新学習指導要領実施へ向けた移行期間に入る。 継続して部活動の充実を図る。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 食育の推進

事業番号 健康 8 (40)

Purpose (事業の目的)

町民が健やかで豊かな食生活を送れるように、町民が主役となり、家庭・保育園・学校・地域・生産者団体・関係機関・行政などが連携して食育を推進する。

Plan（目的達成のための計画）

- ホームページや広報を活用して、食育推進計画を周知する。
- 地域の食文化の継承と地域の特産品を活用した学校給食を提供する。

Do（目的達成のために実行したこと）

- ホームページ、広報、学校給食展示会で食育推進計画を公表。
- 小学校、保育園の親子会と共催して食育推進事業を実施。
- 食生活改善推進員による食文化の継承（地域伝達講習会）。
- 学校給食週間に東部圏域の郷土料理や特産品を給食として提供。

Act（目的達成のために改善する事）

- 食育推進計画を知ってもらうために、ホームページや広報だけでなく学校教育現場（参観日など）や地域の集まりで周知する。
- 親子会と共催した食育推進事業を固定化させる。
- 家庭でも郷土料理や特産品を食べる機会ができるように、智頭町の郷土の味をまとめたレシピ集のようなものを作成する。

Check（目的達成できたかを確認）

- ホームページや広報を見ていない人には周知ができていない。
- 小学校や保育園の親子会と共催することで、参加率がよく、効率よく食育推進事業に取り組めた。
- 食生活改善推進員と連携して活動することで、地域に根ざした食文化の継承が行えたが、参加者は中年～が多く若者の参加は少ない。
- 東部圏域の郷土料理や特産品を給食として提供することで、自分の生まれ育ったふるさとの味を伝えることができた。

≪評価≫ C

- ホームページや広報だけでは幅広い周知ができなかったため、地域に出向いて食育推進計画を周知していく必要がある。
- 学校給食週間をうまく活用して、地域の郷土料理や特産品を提供することができた。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談・家庭訪問の充実

事業番号

健康 9 (41)

Purpose

(事業の目的)

主に生活習慣病の発症予防、早期発見、重症化予防を目指す。

Plan（目的達成のための計画）

- 40歳以上の国保加入者に対し特定健診を実施。
- 40歳以上の男女に胃・肺・大腸がん検診、20歳以上の女性に子宮がん検診、40歳以上の偶数年齢の女性に乳がん検診を実施。
- 特定健診で要指導値の者に糖尿病予防、高血圧予防目的の教室を実施。
- 住民の運動習慣のきっかけづくりとして、ウォーキング教室を実施。
- 地区等からの依頼で健康教室を実施。
- 健診の事後フォロー等のため、健康相談・家庭訪問を実施。
- 特定健康診査等実施計画（第2期）の修正。

Do（目的達成のために実行したこと）

- 特定健診、各種がん検診を実施（6月～2月）。未受診者への勧奨通知。
- 糖尿病予防教室を年7回実施。
- 高血圧予防目的の「じげのうまいもん教室」を1回実施。
- 全町対象のウォーキング教室とウォーキングサポーター養成講座を年1回実施。土師・富沢・智頭地区公民館と共催でウォーキング教室を1回ずつ実施（那岐地区は台風のため中止）。
- 地区等からの依頼で健康教室、健康相談・家庭訪問を実施。
- 特定保健指導の一部を町で実施（今までは智頭病院委託）。
- 特定健康診査等実施計画（第2期）の評価・修正。

Act（目的達成のために改善する事）

- 健診受診者を増やす取組について、未受診者の勧奨方法を検討する。（通知後に訪問する、通知内容を対象者の特性によって変化させるなど）
- 特定保健指導利用者を増やし、生活習慣病の重症化予防をはかる。
- 要指導値の者を対象とした健康教室は、その中でもよりハイリスクの人から参加勧奨する。
- ウォーキングサポーターの活動内容・活動の場を検討する。
- 各地区公民館との連携したウォーキング事業を展開する。
- 地区住民の集まる場に出向き、健康無関心層へ働きかける機会をつくる。

Check（目的達成できたかを確認）

- 特定健診受診率（暫定値） 31.8%
- がん検診受診率：胃27.2%、肺31.0%、大腸34.6%、子宮27.7%、乳17.3%
- 智頭町ドック170人、智頭町脳ドック32人実施。
- 特定保健指導対象者の内、20人を町で実施。
- 健康教室（町主催の糖尿病予防教室、じげのうまいもん教室、ウォーキング教室を含む）27回実施、延640人参加。
- 健康相談延120人実施。家庭訪問延154人実施。
- 特定健康診査等実施計画（第2期）の評価・修正を3月末までに実施。

《評価》 C

- ・健診受診率は横ばい～微減傾向。未受診者への勧奨は行っているが、通知による勧奨効果が薄れてきており、勧奨方法の検討が必要。
- ・ハイリスク者を対象とした教室や特定保健指導の実施などは短期間で効果測定ができないため、内容を見直しながら継続し、将来的に生活習慣病の重症化予防につなげる。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 介護予防事業の推進

事業番号

健康10（42）

Purpose

（事業の目的）

介護予防の推進

Plan（目的達成のための計画）

- 各地区で定期的に介護予防教室を開催
- いきいき百歳体操の普及啓発
- 認知症予防のための教室開催
- 認知症について講演会の開催

Do（目的達成のために実行したこと）

- 元気にすてっぷフォロー教室を各地区公民館等で開催
ひまわり会館、総合センター、山形一地区公民館、どんぐりの館、
那岐地区公民館、土師地区公民館、富沢地区公民館、山郷地区公民館
- いきいき百歳体操を森のミニデイを中心に実施
- 脳の健康教室を2クール開催（1クールは3ヶ月）
①10/ ~12/ ②1/ ~3/
- いきいき脳元気教室を毎週月曜日開催
- 認知症を知り地域で支える研修会を開催 2月11日（日）

Act（目的達成のために改善する事）

- 元気にすてっぷフォロー教室各会場でのあり方を検討する。
- いきいき百歳体操の会場を増やすとともに、センターの関わり方の検討
- 脳の健康教室の開催回数の検討
- いきいき脳元気教室の開催方法の検討
- 研修会の開催方法、PR方法の検討

Check（目的達成できたかを確認）

- 総合センターと那岐地区公民館は開催回数を変更し、より頻回に集まれる場とした。（月4回←月2回）
- 介護予防サポーター養成講座などでいきいき百歳体操をPRし、実施会場を増やすことができた。（6カ所←3カ所）
- 脳の健康教室の開催回数の変更をし、参加出来る機会を増やした。（2クール←1クール）
- 認知症を知り地域で支える研修会を開催するにあたり健康ポイントの対象とした。

《評価》

C もっと介護予防の普及に取り組み、介護が必要なく元気に生活できる期間を少しでも長く持てる人が増える環境づくりが必要である。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 介護給付費の適正化事業の推進

事業番号

健康11（43）

Purpose （事業の目的）

介護保険適正化を行い、限られた資源を効率的・効果的に活用する。

Plan（目的達成のための計画）

- 介護給付費明細の送付
- 給付実績のチェック
- 住宅改修現場の確認

Do（目的達成のために実行したこと）

- 介護給付費明細の送付（年2回）
- 介護給付適正化に係るブロック研修会への参加（岡山）
- 住宅改修現場の確認

Act（目的達成のために改善する事）

- 介護給付費明細の送付方法の検討。
（国保連合会による既製物のため、独自通知文の同封等）
- 介護給付適正化研修会への参加によって得た情報から、
当町で取り入れ可能なものを拾いあげる。
- 介護保険住宅改修事業者研修会の検討

Check（目的達成できたかを確認）

- 利用者本人（又は家族）に対して、サービスの請求状況及び
費用等について通知した（6月、3月）
- 介護給付適正化に係るブロック研修会への参加により、
他保険者の実態や取り組み事例の共有を行った。
- 町の担当職員が、利用者宅を訪問し、図面をもとに
適正に施工されているかを確認した。

《評価》 C

○国が示す介護給付適正化主要5事業について、実施できていない項目もある。次期では取入れを検討し、不適切な給付を削減する一方で、利用者に対する適切な介護サービスを確保する。また、介護保険の信頼性を高めるとともに、介護給付費や介護保険料の増大を抑制する。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 町民の健康づくりを目指した健康ちづ21の見直し

事業番号 健康 12 (44)

Purpose

(事業の目的)

生活習慣病の発症予防と重症化予防を通じて、町民が生きがいや夢をもち、心身ともに健康で自立して暮らせることと、地域の人々が互いにつながりを持ち、共に支え合うまちづくりを目指す。

Plan（目的達成のための計画）

- 平成24年度に修正した「健康ちづ21」を評価するため、町民の一部に健康に関するアンケートを実施。
- アンケートと統計資料から平成24年度改訂版を評価し、計画を修正。

Do（目的達成のために実行したこと）

- 20～79歳町民の1割を無作為抽出し、健康に関するアンケートを実施。
- 人口動態統計や町で作成している健診や医療費、介護に関する資料を収集・分析。
- アンケート結果や統計資料から平成24年度改訂版を評価。平成29年度改訂版（案）を作成。
- 関係機関の代表者を交えた策定会議を2回実施し、意見を聴取。
- （案）を修正し、29年度改訂版及び概要版を3月末に策定。

Act（目的達成のために改善する事）

- 平成24年度改訂版では、健康教室への参加があまり期待できない健康無関心層へ働きかける方法として、当時導入された告知端末等を利用した啓発などを取組内容に挙げていたが、効果が薄いことが分かった。
- そのため、平成29年度改訂版では、地区住民の集まる場に出向く機会を重視する内容とした。
- 平成30年度以降は、この平成29年度改訂版に基づき、健康無関心層への健康教育等の機会を確保するとともに、4年後に中間評価を行う。

Check（目的達成できたかを確認）

- アンケートの回収率は46.0%。
- 国の自殺予防計画に関する動向を待っていたために、アンケートの実施が当初の予定より遅くなり、アンケート内容や24年度改訂版の評価、29年度改訂版での具体的な取組について、チームメンバーと協議する時間が十分持てなかった。

《評価》 C

○次回は、アンケートや資料収集を年度の前半、もしくは前年度に行い、計画の評価・修正のために、チームメンバーや関係機関と協議する場を充実できるよう、タイムスケジュールを調整する。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 町民の健康に対する意識の高揚を図るための啓発推進

事業番号 健康 13 (45)

Purpose (事業の目的)

町民の健康に関する意識の向上と、健康づくりにつながる活動のきっかけづくりを目指す。

Plan（目的達成のための計画）

- 健診の受診勧奨、健康づくりに関する知識提供を行う。
- 広報、告知端末、ホームページを活用する。

Do（目的達成のために実行したこと）

- 広報と告知端末で集団健診の案内を実施。
- 世界禁煙デー、肝臓病月間、健康増進月間、がん征圧月間、食生活改善普及運動、糖尿病予防デー、生活習慣病予防月間、女性の健康週間等に合わせて、広報、告知端末、ホームページで啓発。
- ほのぼのそよかぜ通りを利用した啓発ポスター掲示、資料配布、レシピ配布。

Act（目的達成のために改善する事）

- 健康への関心度合いに関わらず、どの町民にも必ず情報を届けられる手段として、今後も広報・告知端末・ホームページを活用した啓発は続行する。

Check（目的達成できたかを確認）

- 広報・告知端末・ホームページを活用した啓発のため、効果測定は難しい。
- 健康に関する月間や週間時には、必ず広報や告知端末等で啓発し、そよかぜ通りを利用した掲示や資料配布を行った。
- レシピは毎月約30部配布できている。糖尿病や高血圧がテーマのレシピは約10部追加配布。

《評価》 C

- 健康に対する意識をより高めるため、広報・告知端末・ホームページの活用と合わせて、町民と直接関わる機会を確保することが必要である。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 町民の健康増進のためのセラピーロードの活用

事業番号

健康 14 (46)

Purpose

(事業の目的)

森林資源を活用し、住民の健康増進のために森林セラピーロードを活用

Plan（目的達成のための計画）

- ・ 森林セラピーの普及・啓発
- ・ 町民の利用促進に向け福祉部門と連携したプランの検討
- ・ プランに基づくモニターの試行実施

Do（目的達成のために実行したこと）

- ・ 観光協会へガイドの養成及びPR経費として補助金を交付
- ・ 山郷、土師の両地区振興協議会へ新規セラピーロード活用促進補助金を交付 1地区 20万円
- ・ 町民のガイド料金無料を継続実施
- ・ 18歳以上の町民対象智頭町健康ポイント事業の実施
森林セラピーへの参加（5ポイント）
- ・ 新規セラピーロードでモニタープランの実施

Act（目的達成のために改善する事）

- ・ 地区振興協議会主催による新規森林セラピーロードのグランドオープンイベントを実施。
- ・ 健康、福祉をテーマとした新規森林セラピーロードのオープンを活用し、福祉部門との連携を図りポールを使ったプログラムの検討を行う。
- ・ 森のガイドの会による町民の参加しやすいイベントを実施。
- ・ 町民や近隣住民をターゲットとしたPRを行い、町民や近隣住民の利用増を図る。

Check（目的達成できたかを確認）

- ・ 町民の森林セラピーの利用は、平成28年度102人、平成29年度274人と増えてはいるが、まだまだ、町民の健康増進までには至っていない。
- ・ 町民への更なる周知、参加のしやすさの提供など課題はある。

《評価》

C：新たに2つの森林セラピーロードがオープンすることを踏まえ、町民の健康増進に向けて更なる森林セラピーロードの活用を図っていく必要がある。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 看護師確保対策の強化

事業番号

健康 15 (47)

Purpose (事業の目的)

看護職員を計画的に採用することにより、安定的な病院運営を図り、安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくりを目指す。

Plan（目的達成のための計画）

看護師不足対策として、奨学金制度

奨学金 @50,000円/月

継続者 3人

新規者 2人

就学者 1人

Do（目的達成のために実行したこと）

看護師不足対策として、奨学金制度

奨学金 @50,000円/月

継続者 3人

新規者 2人

就学者 1人

Act（目的達成のために改善する事）

今後も奨学金制度の継続・周知に努める。

奨学金制度以外に、従来実施している看護学校や育児離職者等への働きかけも一層強化する。

Check（目的達成できたかを確認）

看護師不足対策として、奨学金制度

奨学金 @50,000円/月

継続者 3人

新規者 0人

就学者 0人

継続者のみで新規の申請者がなかった。

《評価》 D

奨学金制度の利用者が本年度で0人となる。看護学校などに出向いて働きかけを行ったが、新たな貸付者が無かった。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 医療設備・機器の整備

事業番号

健康 16 (48)

Purpose

(事業の目的)

平成17年2月に新築移転後、10年以上経過しているため、建物の修繕及び医療機器等の更新を計画的に実施し、安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくりを目指す。

Plan（目的達成のための計画）

- | | |
|----------------------------|---|
| 医 1. 建物の修繕及び改修 デイケア浴室修繕 | 2. 医療機器等の更新 自動錠剤半切機 心電図検査装置 超音波診断装置 三次元眼底像撮影装置 電気スूपケトル 紙折り機 電子カルテ用パソコン20台 デイケア運動訓練機器(2台) |
|----------------------------|---|

Do（目的達成のために実行したこと）

自動錠剤半切機
心電図検査装置
超音波診断装置
三次元眼底像撮影装置
電気スूपケトル
紙折り機
電子カルテ用パソコン20台
デイケア運動訓練機器(2台)

Act（目的達成のために改善する事）

今年度分の医療機器の更新は計画どおり達成したので、今後も年次計画に沿って計画的に行っていく。

Check（目的達成できたかを確認）

- 計画1) 大規模改修が必要となったことから、事業を中止せざるを得なくなった。今後大規模改修を含め検討を行う。
- 計画2) 医療機器等の更新は計画どおり達成できた。

《評価》 B

計画どおり達成できた。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 医師確保対策の強化

事業番号 健康 17 (49)

Purpose (事業の目的)

医師確保により、安定的な病院運営を図り、安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくりを目指す。

Plan（目的達成のための計画）

医師不足対策として、県でも奨学金制度等を創設して取り組んでいるが、へき地の医療機関は益々医師不足が加速している。そのような状況において、智頭町での地域医療を存続し、地域住民が安心して住み慣れた地域で暮らせるよう、町から国の基準に沿った繰入金を受けることにより、代診医師の派遣、研究研修に要する経費などを補う。

Do（目的達成のために実行したこと）

| | |
|--------|-----------|
| 他会計負担金 | 44,306千円 |
| 他会計補助金 | 287,546千円 |
| 出資金 | 151,610千円 |
| 合計 | 483,462千円 |

研究研修費（学会等出張旅費、講師招聘、専門図書購入）や代診医の派遣費用、法定福利費および勤務環境の改善に充当した。

Act（目的達成のために改善する事）

次年度以降も引き続き医師確保に取り組み、安定的な医療を提供する。
「改善＝継続」が必要。

Check（目的達成できたかを確認）

計画どおり達成できた。

《評価》 B

総務省の繰入基準に沿った繰入金を確保することが出来た。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 智頭宿の町並み整備と事業展開の推進

事業番号 環境整備 2 (50)

Purpose

(事業の目的)

智頭宿活性化のため、有効活用できる空き家・空き施設を調査し、智頭宿活性化を担う町民主体の団体を立ち上げ、空き家・空き施設を含めた智頭宿一体の活性化を図る。

Plan（目的達成のための計画）

○空き家実態調査の実施による空き家・空き施設状況の把握
(智頭町内の空き家等件数、利活用判定、外観写真、位置図)

Do（目的達成のために実行したこと）

○空き家実態調査を実施し、空き家・空き施設の所在や老朽化状況を把握
(智頭町空き家等件数：429件、空き家等率：5.7%)
○中長期滞在施設の整備事業を智頭宿内で計画し、活性化を図るきっかけづくりをする。

Act（目的達成のために改善する事）

○空き家実態調査の結果を整理し、空き家所有者の洗い出しを始め、バンク登録件数の充実を図り、移住希望者への定住を促進する。

Check（目的達成できたかを確認）

○空き家実態調査を実施したことにより、智頭宿内の空き家等の実態が判明した。これを活かし、空き家等の活用計画を官民で計画していく。

《評価》

C：空き家実態調査の実施により、町内の空き家等件数・利活用判定の結果が得られ、地域活性化に向けた下準備としての一定の効果があつたと感じる。今後はこの結果を踏まえ、所有者の洗い出しや移住希望者への情報提供に努め、住民参加の意識醸成を目指す必要がある。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 情報インフラの更新

事業番号 環境整備 3 (51)

Purpose (事業の目的)

地域間の情報格差是正のため整備した光通信網の維持活用

Plan（目的達成のための計画）

- 情報基盤を使用した新たなシステムの構築のための協議会設置
- 見守り支援サービスの受益者拡大のための高齢者個別説明の充実
- 端末不具合に対し、住民自ら一時的に対応するための施策検討

Do（目的達成のために実行したこと）

- 工事分担金の一部補助（1/2）
- 分担金の減免
- 端末異常時の一時対応
- 高齢者の見守り支援
- 智頭町プレゼントクイズ
- IP電話に代わる設備の導入検討
- 端末異常時の対応方法ビラの配布

Act（目的達成のために改善する事）

- 今後の光情報通信網の活用方法について検討を進める
(IP電話の老朽化により故障対応が増加傾向にある。新しいIP電話を導入するか、それともタブレットにするか等、地域の状況に合わせた設備を整備)
- 光情報通信網の維持管理について、現状と比較し最良の方法について検討を進める

Check（目的達成できたかを確認）

工事分担金の請求について、説明不足等により分担金の支払いを拒まれる事象があった。端末異常時に係る一時対応は迅速に行うことができた。高齢者の見守り支援も新規で利用者を獲得するなど、高齢者の安全安心に繋げる支援もできた。
現行IP電話に代わる設備について、詳細な進め方等十分に検討ができなかった。

《評価》

D：今後、光情報通信網を利用した新たなサービスの提供の仕方について検討する必要がある

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 地方特定道路整備及び急傾斜地崩壊対策事業

事業番号 環境整備 5 (52)

Purpose
(事業の目的)

企業誘致及び定住促進住宅建築に伴う三田テクノパーク内道路の早期整備
住民の安心・安全を確保するため、県営急傾斜対策事業の推進及び要望

Plan（目的達成のための計画）

地方特定道路整備及び急傾斜地崩壊対策事業（県要望）の事業化要望。
地方特定道路整備については、和田平3号線（ゆめが丘線予定）の整備に伴う測量設計。
急傾斜地崩壊対策事業については、県要望を行う。

Do（目的達成のために実行したこと）

地方特定道路整備については、和田平3号線（ゆめが丘線予定）の測量設計完了。
急傾斜地崩壊対策事業については、中島地区・大内木下地区で実施中。

Act（目的達成のために改善する事）

地方特定道路整備については、関係課との連携が必要不可欠であるため、今まで以上に連携を密にし、事業を実施していく必要がある。

急傾斜地崩壊対策事業については、県営事業であるため、引き続き事業化に向けて要望を行う。
また、急傾斜地崩壊対策事業については、県営事業に対する負担金を支出しているが、県事業の工事費等の増減により負担金も増減する。これにより、町の財源である起債にも影響するため、県との連絡調整を今まで以上に密に行う必要がある。

Check（目的達成できたかを確認）

地方特定道路整備については、三田テクノパーク内道路新設に伴う測量設計完了。
急傾斜地崩壊対策事業（県事業）については、計画通り進行している。

《評価》

C:概ね達成している。次年度以降は引き続き関係課と連携を密にし、事業を実施する必要がある。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 町道及び橋梁の計画的な整備と長寿命化計画

事業番号 環境整備 6 (53)

Purpose
(事業の目的)

企業誘致及び定住促進住宅建築に伴う三田テクノパーク内道路の早期整備
既設町道及び町管理橋梁の計画的で適切な維持管理

Plan（目的達成のための計画）

国からの通達により、町管理施設（橋梁等）について、5年に1度の定期点検が義務づけられた。これに伴い、道路ストック及び橋梁の定期点検を実施し、健全度（Ⅰ～Ⅳ判定）に応じた橋梁等長寿命化修繕計画等を策定し、計画に沿って適切に修繕を行う。
町道の新設については、近年「三田テクノパーク」内に定住促進住宅を建築する等、需要が増えてきている。関係課と連携しながら、無駄のない町道等の整備を行う。

Act（目的達成のために改善する事）

道路新設については、関係課との連携が必要不可欠であるため、今まで以上に連携を密にし、事業を実施していく必要がある。

《評価》

C:概ね達成している。次年度以降は引き続き関係課と連携を密にし、事業を実施する必要がある。

Do（目的達成のために実行したこと）

平成29年度末時点：橋梁長寿命化修繕計画策定済み。
これに伴い、順次橋梁修繕実施中。

町道和田平1号線新設完了。
町道和田平2号線新設完了。（一部残事業有り）
町道和田平3号（ゆめが丘線予定）線測量設計完了。平成30年度整備開始予定。

Check（目的達成できたかを確認）

橋梁長寿命化修繕計画及びそれに伴う橋梁修繕について、予算の範囲内において適正な進捗である。

道路新設について、概ね計画通り進行している。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： ふるさと整備土木事業

事業番号 環境整備 7 (54)

Purpose
(事業の目的)

住民の安心・安全を守るため、地域インフラの課題解消

Plan（目的達成のための計画）

申請書類送付、現地確認及び審査、採択決定・不採択決定通知を適格なタイミングで実施し、工事発注・変更は、土木技師が申請者と密な協議のもと行うこととする。

Do（目的達成のために実行したこと）

- ①平成29年4月3日付申請書類送付。
 - ②平成29年5月22日申請現場確認。
 - ③平成29年5月23日付採択・不採択通知発出。
 - ④平成29年6月20日～12月1日に発注済。（通常分）
 - ⑤適切に工事監督を行い、申請者との協議も密に行い、必要に応じ適切な変更を行った。
 - ⑥工事完成後は速やかに検査を行い、地元分担金を徴収した。
- その他、平成29年9月発生台風18号により、全町的に災害等が発生したが、一部農災等の適用にならない箇所があったため、特別にふるさとの追加募集を行い実施した。（坂原・新見）

Act（目的達成のために改善する事）

請負業者や地元調整はもちろんのこと、工事発注をする際、工事変更をする際など、技師と事務職員が連絡・相談・報告を密に行い、予算の部分にも目を向け、無駄のない執行を心がける必要がある。

Check（目的達成できたかを確認）

農繁期は水路等の農業用施設を工事することができないため工事発注が農閑期になるが、それ以外の工事については速やかに発注することができた。

また、工事監督、地元との連絡調整も密にできており、特に問題はなかった。

また、今年度については、台風18号の影響により、全町的に災害が発生したため、追加募集をを行い、実際に2件の申請を追加採択、工事完了した。

一部、土木技師と事務職員の調整不足により、工事の変更等で一般財源が増となった部分があった。（鳥取県しっかり守る農林基盤交付金1/2の残額）

《評価》

B:通常の採択分に加え、台風による追加等臨機応変な対応ができた。次年度は、補助金の事も念頭に置き無駄のない事業実施を心がける必要がある。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 老朽管施設更新事業

事業番号 環境整備11 (56)

Purpose

(事業の目的)

老朽水道管の更新

Plan（目的達成のための計画）

- ・ 町内における老朽管の更新
- ・ 漏水箇所等修繕

Do（目的達成のために実行したこと）

- ・ 上水道区域内の漏水調査（8～11月）
- ・ 漏水箇所の修繕（止水栓：2箇所、配水管：2箇所、送水管：1箇所）

Act（目的達成のために改善する事）

老朽管の更新について優先順位を設けて計画的な更新を行っていく。

Check（目的達成できたかを確認）

漏水調査を行った結果、大きな漏水箇所は発見することはできなかった。有収率がここ数年低下していることもあり発見した漏水箇所については修繕を行ったが、計画的な管路更新は行うことができなかった。

《評価》

D：修繕のみで計画的な更新を行うことが出来なかった。しかし、近年の集中的な投資のため、減価償却費が上昇しており、経営計画等と照らし合わせながらの計画的な更新をしていきたい。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 老朽化施設更新事業

事業番号 環境整備12 (57)

Purpose

(事業の目的)

老朽水道施設の更新

Plan（目的達成のための計画）

老朽水道施設の更新を行う。

Do（目的達成のために実行したこと）

- ・水源地内修繕：7箇所
- ・上水道水質監視装置修繕：3箇所

Act（目的達成のために改善する事）

老朽施設の更新について優先順位を設けて故障等発生する前に計画的な更新を行っていく。

Check（目的達成できたかを確認）

老朽化が原因による故障等は修繕により解消したが、計画的な更新は近年の集中的な投資のため、減価償却費が上昇しており行うことが出来なかった。

《評価》

D：近年の集中的な投資のため、減価償却費が上昇しており、経営計画等と照らし合わせながらの計画的な更新をしていきたい。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 国・県・町の連携による通学路等の整備検討

事業番号 環境整備 13 (58)

Purpose

(事業の目的)

通学路の安全点検の継続と、道路施設の改良により児童生徒の通学時の更なる安全確保の推進

Plan（目的達成のための計画）

通学路の安全確保

Do（目的達成のために実行したこと）

通学路交通安全プログラムに基づく安全点検・合同点検の実施

Act（目的達成のために改善する事）

通学路交通安全プログラムのホームページ掲載（情報共有）

Check（目的達成できたかを確認）

通学路交通安全プログラムの改定

《評価》

B：通学路交通安全プログラムに基づく安全点検・合同点検の実施により危険箇所の改善が図られている。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 町民バスの更新

事業番号 環境整備 15 (59)

Purpose (事業の目的)

老朽化が著しい車輛を随時更新することで、安全安心な公共交通サービスを提供する。

Plan（目的達成のための計画）

- 公共交通の抜本的な見直し
- 老朽化した車輛の更新

Do（目的達成のために実行したこと）

- カーシェアリングシステムやスクールバスの導入などの検討
- 県の補助金模索

Act（目的達成のために改善する事）

- 住民代表や有識者等を含めた協議会を設置し、抜本的な見直しを図ると同時に車輛の更新についても随時進める。

Check（目的達成できたかを確認）

- 抜本的な見直しをするに十分な検討時間がとれなかったこともあり、取り急ぎ車輛の更新を行うこととなった。
- 車輛購入にあっては、県に対し補助金交付の打診をしており、概ね補助上限の満額補助を受けられ見込。

《評価》

D：車輛更新の目処はたったものの、継続して持続可能な運営が行えるよう見直しが必要。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 公共交通機関の利用促進

事業番号 環境整備 16 (60)

Purpose

(事業の目的)

町民が利用しやすい公共交通を検討し、公共交通の利用促進に繋げる。

Plan（目的達成のための計画）

○交通事業者と連携を図り、運行経路の変更やダイヤの改正を行う

Do（目的達成のために実行したこと）

○車輛の回送距離を短縮し効率化を図るとともに、乗車実績のないバス停を廃止
○はたらく乗り物展においてバスを設置し、バスの乗り方教室を交通事業者が開催

Act（目的達成のために改善する事）

○継続して、町民が利用しやすい運行形態を模索するとともに、乗り方教室などを継続開催することで、親しみやすい公共交通の在り方を検討する。

Check（目的達成できたかを確認）

○運行経路を変更し、より効率化を図ることができた。
○子ども連れが多く訪れ、乗り方教室は盛況であった。

《評価》

C：運行事業者と協力し継続して検討する必要があるものの、乗り方教室の集客等、一定の効果が得られた

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名：除雪事業

事業番号 環境整備 17 (61)

Purpose
(事業の目的)

冬期交通の確保と冬期も安心して暮らすことができる地域づくりを進めることを目的に、町道等の除雪を行う。

Plan（目的達成のための計画）

- 冬期間の積雪時、生活道路の除雪を行い、地域住民の安心・安全に寄与する。
- 除雪路線のうち、21路線を雪寒指定路線として位置づけ、この路線の除雪にかかる経費の2/3を国費。

Do（目的達成のために実行したこと）

- 除雪計画の策定
- 除雪対策会議の実施
- 除雪計画路線 町道56路線、農道5路線、林道4路線、その他2路線、県道応援除雪1路線、主要地方道1路線、6施設。除雪延長約60km。
- 鳥取県との委託契約

Act（目的達成のために改善する事）

- 業者に的確な指導を行い、無駄のない除雪を心がけ経費の削減に努める。

Check（目的達成できたかを確認）

- 各路線の除雪範囲を着色した図面を作成し、業者に配布した。
- 除雪機械の運転手となる若手人材を育成し、冬期交通の確保と冬期も安心して暮らすことができる地域づくりを進めることを目的に、智頭町除雪機械育成支援事業を設け、補助金交付を行う。

《評価》

B：概ね達成できている。来年度も無駄のない除雪を心がけ経費削減に努める必要がある。

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 鳥取県東部広域行政管理組合による消防・救急体制の維持・充実

事業番号 環境整備 23 (62)

Purpose

(事業の目的)

鳥取県東部広域行政管理組合の消防・救急体制の維持および充実を目的とする。

Plan（目的達成のための計画）

○鳥取県東部広域行政管理組合による消防・救急体制の維持および充実
(鳥取県東部広域行政管理組合消防費負担金)

Do（目的達成のために実行したこと）

○鳥取県東部広域行政管理組合消防費負担金の支払

Act（目的達成のために改善する事）

○八頭消防署智頭出張所移転に伴う用地取得を行う。
○例年通り鳥取県東部広域行政管理組合消防費を負担。

Check（目的達成できたかを確認）

鳥取県東部広域行政管理組合消防費を予定どおり負担。

《評価》

B：現状どおりであるが今後の鳥取県東部広域行政管理組合の消防・救急体制の維持および充実のためにも智頭出張所移転用地取得を急ぐ

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 災害対策体制の確立

事業番号 環境整備 24 (63)

Purpose

(事業の目的)

関係機関同士の連携強化、的確な情報発信で、「自助・共助・公助」のバランスの取れた災害に強いまちづくりを目指す。

Plan（目的達成のための計画）

- 避難行動要支援者個別計画作成
- 町防災計画の見直し
- 避難所運営マニュアルの作成

Do（目的達成のために実行したこと）

- 町防災計画見直（案）を作成
- 避難所運営マニュアル（案）を作成

Act（目的達成のために改善する事）

H30年度初めに防災会議を開き各種計画やマニュアルについて協議する。また、避難行動要支援者個別計画については早い段階で個人情報やリストを共有し計画作成につなげる。

Check（目的達成できたかを確認）

防災計画と避難所運営マニュアルについて案を作成することができたが年度内に防災会議を開き案について協議することが出来なかった。
また、避難行動要支援者個別計画については個人情報や要支援者リストの見直しが出来ておらず個別の計画を立てることが出来なかった。

《評価》

C：各種計画については、災害に対する見解や対策方法の変化に遅れなく見直していく必要がある。避難時に特に配慮が必要な要支援者についても関係機関内での情報共有が必須となり迅速な避難誘導が出来るよう計画作成を急ぐ

第7次総合計画 進行管理検証シート（平成29年度事業）

事業名： 高齢者や一人暮らし家庭などの安全・安心につながる見守り事業の推進

事業番号 環境整備 25 (64)

Purpose

(事業の目的)

高齢者や一人暮らし家庭等が地域で安心して生活することが出来る。

Plan（目的達成のための計画）

- お元気ですかメールの実施
- 要援護者台帳の整備

Do（目的達成のために実行したこと）

- お元気ですかメールを毎日（午前7時に配信）行い、午前・午後に更新を行う。
- 災害時要援護者登録申請書を提出。（民生委員が実施）

Act（目的達成のために改善する事）

- 今後もお元気ですかメールの配信を行い、安否確認等の継続。
- 新規登録者（登録が必要な方）の加入斡旋

Check（目的達成できたかを確認）

- 独居や高齢者の安否確認
- 要援護者リストを作成し、災害時等に活用。

《評価》 C

独居世帯を中心に安否確認を行えているが、今後も継続的に行うことで独居世帯等の安全安心を確保する。